

WEEKLY NEWS 2016 週報 通算 2189回 《2回》



第2640地区

和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>

会長 土屋一博 幹事 中曾真二郎

会報委員長 山本真司

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿

第1・第2：18:30～(夜)

第3・第4・第5：12:30～(昼)

事務局 E-Mail

a-rotary@coral.cypress.ne.jp

人類に
奉仕する
ロータリー

本日の例会

7月 20日(水)

12:30～華月殿

- 開会点鐘 土屋会長
- ・ロータリーソング 花になろう 鳥になろう
- ・出席報告(例会委員会)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・行事「前年度 皆出席会員表彰」表彰者より一言「皆出席の心構え」
- ・閉会点鐘 土屋会長

先週例会報告 会場監督 山田さち子

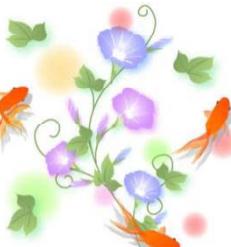
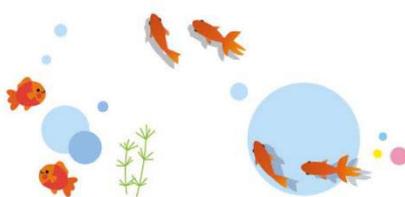
ゲスト・ビジターはございません。

会長挨拶

土屋一博 会長



本日の行事は、各委員会の発表となっています。
熱い発表をお聞きするとともに、計画を達成する為のご協力をお願いします。
本日は最初の皆様の活として、1枚の資料を皆様のレターBOXに入れました。
『ロータリー最初の社会奉仕プロジェクト』を読みます。
シカゴロータリークラブの会員は、シカゴのダウンタウンの市民のために、シカゴで最初の公衆便所を設置しました。1905年2月23日、ロータリークラブがシカゴに誕生しましたが、会員達が物質的な相互扶助を目的にするよりも、もっと地域社会に役立つことをしようと動き始めた2年目の1907年に、ポールは、シカゴ商工会の会議に出席する機会があった。その会議の議論の中で、ループ地区(シカゴの中心部)では市民のための公衆便所がないという話があった。
ポールはこのアイディアをクラブに持ち帰った。そして、次のように言った。「ここに、我々の行動力を求める市民のニーズがある。我々は、人のために尽くすことができる。」いろいろな意見があつたが、ポールは真剣に、このプロジェクトは自分達の品位を落とすことにならないと説得したので、投票の結果、前向きに進むことになった。そこでクラブは、グレートノーヴァンホテルにおいて、25の市民組織の代表者による会議を召集した。ここに、公衆便所設立のための連合組織委員会が誕生した。しかし、直に公衆便所は建設されなかつた。土地を掘り起こすまでに、2年もかかった。というのは、すでに店に充分なトイレ設備を持っていると強く主張した大きな商業施設からの反対があったからである。若い会員は、頑張って、市当局から20,000ドルの補助金を獲得した。1909年の後半、市役所と公立図書館のニケ所に公衆便所ができ、市民の生活を快適なものにした。
これを読んで歴史を含め様々な考えを持ちましたが、私個人的には、ポールがこのアイディアをクラブに持ちかえ「とにかく動いた」ことが、実行力が最終的に成果につながったのだと思いました。
PDCA (Plan Do Check Action) サイクルは、理想ですが、短期的に行動するには「行動する系の」 Do-Action が良いかと思います。



Rotary 和歌山東南ロータリークラブ

ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会	
累計 394,776	108,000	113,000	0	

出席報告			出席者	出席率
会員総数	44名	7/13	31名	75.61%
出席免除会員	3名	6/24	40名	93.02%

幹事報告

中曾真二郎 幹事

- ① PIECE OF PEACE 『レゴ®ブロック』で作った世界遺産展のお知らせ
高野山 RC・河内長野高野街道 RC 共同推奨でのイベント紹介資料が両クラブから届きましたので、皆様のラックにいれさせて頂いております。ご覧ください。
- ② 2015-2016 年度 地区大会記録誌が届いております。皆様のラックにいれさせて頂いております。ご覧ください。
- ③ 1 件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いています。お目通しいただき、御入用の方はお持ち帰りください。・カンボジア アンコール小児病院・ラオス ラオ・フレンズ小児病院のニュースレター春夏号



ニコニコ箱

谷口 拓 会計

- 土屋君・本日 各委員長様、発表よろしくお願ひします。
- 有本君・富士山登山しました。高さと同じ金額です。
- 竹中君・赤在君・楠見君・松浦君・平先生、先日はお世話になりました。ありがとうございます。
- 本人お誕生日お祝い・片畠君



米山記念奨学会

ロータリー財団

神谷君・主旨に賛同して。

- 神谷君・主旨に賛同して。
- 小林君・米山記念奨学会 特別寄付よろしく。



「表彰」ロータリー財団委員会 籠田委員長より

マルチフル・ポール・ハリス・フェロー 4回目 竹中昭美会員

マルチフル・ポール・ハリス・フェロー 3回目 山本唯二会員

米山記念奨学会委員会 小林委員長より

第1回 米山功労者 平 平治会員



米山功労者
第1回
和歌山東南ロータリークラブ
平 平治 殿

米山記念奨学会へのご寄付に対し
心から感謝の意を表します

2016年7月1日

公益財團法人ロータリー米山記念奨学会
理事長 小沢一彦



「活動計画発表」各委員会



山本会報(広報・雑誌担当)委員長



鈴坂会員増強(職業分類・選考担当)委員長



奥村ロータリー情報・規定委員長



市川例会(プログラム・出席担当)委員長



楠見親睦委員長



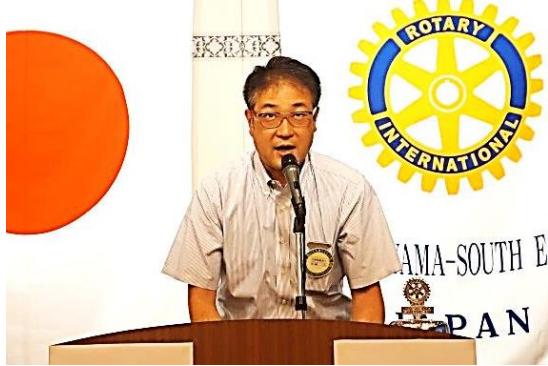
溝落姉妹クラブ委員長



有本ソング委員長



籠田ロータリー財団委員長



小林米山記念奨学会委員長



向陽高校奨学生受渡し 2016年7月11日(月)
奨学生 6名・西岡校長先生・岩橋奨学金担当先生
土屋会長・中曾幹事・竹中青少年委員長



「ロータリー会長 母の思い出とポリオについて語る」 写真提供 SJ Cho

Ryan Hyland 1-Jun-2016 MY ROTARYより抜粋



第107回ロータリー国際大会において、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長が、ポリオに打ち勝った自身の家族とロータリアンの話を紹介しました。韓国で6月1日(水)に開催されたロータリー国際大会の最終日、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長が、30歳でポリオに感染した自身の母親について、KINTEX会議場(韓国、高陽市)を埋め尽くした聴衆に語りました。

母親がポリオに感染したのは、ラビンドラン会長が11歳だったときのこと。母国スリランカで、ある朝に目覚めた母親は、体のだる

さと息切れを感じました。座ろうとすると、足が動かないことに気づきました。ポリオウイルスがあつという間に神経系を侵し、足がまひしていました。すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。医者からは、もう二度と歩くことも、人口呼吸器なしに生きることもできないかもしれませんと告げられました。しかし1963年当時のスリランカには人口呼吸器を備えている病院はありませんでした。母親が入院した日の晩、ロータリー会員だった祖父は、自宅の居間でクラブ委員会の会合を開きました。仲間の会員たちは、ただなぐさめる代わりに、仕事の知識や人脈を生かして、人口呼吸器を確保するためにすぐさま行動を起こしました。銀行マネージャーだった会員は、政府の高官に電話をして、すぐに海外に送金できるよう計らいました。スイス航空のマネージャーだったもう一人の会員は、人口呼吸器を輸送する手はずを整えました。こうして、翌日には人口呼吸器が病院に届いたのです。

「当時のスリランカでは何もかもお役所主義でしたが、ロータリアンたちはこれを取り払ったのです」と、会長は振り返ります。母親の入院生活は1年半続ましたが、徐々に回復し、退院時には歩行器を使って自身の足で歩くことができました。「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしよう。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」とラビンドラン会長。「今晚、母の息子として、そしてロータリーの会長として、皆さまの前に立ち、ロータリーが"ポリオのない世界"という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数ヶ月先かもしれないということを申し上げます」

前日の本会議では、米国疾病対策センターのレベッカ・マーティン氏も「[ポリオ撲滅が非常に近づいている](#)」と述べました。この本会議の前には、ロータリーが3500万ドルの追加補助金をポリオ撲滅活動に投入しました。

ロータリー史上最高となる43,000人の出席者を記録した今国際大会では、150カ国以上から人びとが集まりました。ラビンドラン会長は、会長として最後のスピーチで、ロータリアンであることの真の意味は何なのかを強調しました。「この地球上には、皆さんの懸命な努力のおかげで、より良い人生を送れるようになった人が大勢います。その人たちが私たちの存在に気づいていなくても、私たちの名前さえ知らなくても、それは問題ではありません。大切なのは、皆さんの活動が人びとの人生に触れ、それによって人びとがより健康で幸せになったことです」

次年度に目を向ける

ラビンドラン会長のスピーチに続き、会長の所属クラブであるコロンボ・ロータリークラブの会員と、ジョン・ジャームRI会長エレクトの所属クラブであるチャタヌーガ・ロータリークラブ(米国テネシー州)の会員が壇上に上がり、バナーリバウンドを行いました。これは、会長の交代を非公式に象徴する伝統です。バナーリバウンドの後、ジャーム会長エレクトは「ロータリー史上、最も進歩的な年度が始まろうとしている」と述べ、次のように続けました。「もっと若い世代、最近退職した人、現役の職業人にとってロータリーの活動がもっと魅力的となるよう、変化し、柔軟になることの必要性を、皆さんは訴えてきました。今年の規定審議会における画期的な立法案の採択は、その明確な意思表示です。(中略).....クラブは、自分たちの理想とする姿を目指しながらも、その中核にロータリーの理念を持ち続ける機会を持つことができるようになりました。このニュースに世界中のロータリアンが心を躍らせています」